

キャラクター名
月廻 祀歌

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ソラリス		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	神輿神宮神主
	オプション		年齢	不明(数えるのをやめたので分かってない)	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	天涯孤独	経験	永劫の別れ	邂逅	家族	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	5	1	0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	7		交渉	1	
回避			知覚			意志	1		調達	6	
運転:			芸術:			知識:神輿島	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ミーミルの覚書	
コネ:要人への貸し	
コネ:UGN幹部	
情報収集チーム	
コネ:手配師	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
古代種	P	N		
神輿島の人々	P 幸福感	N 隔意		
花鳥 一颯 (PC1)	P 慈愛	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 24 残り財産P: 16

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
リフレッシュ	1	1D10	Xジャー	至近	単体	自動	D0イス	
効果: 対象の侵蝕率を「Lv×5」%以下の任意の点数を減少する。その後、減少させた侵蝕率と同じだけ、あなたの侵蝕率が上昇する。効果に同意する対象にしか使用できない。1シナリオ1回まで使用できる。								
フォース	3	3	Xジャー	-	-	-	D0イス	
効果: あらゆるメジャーアクションの判定ダイスを+Lv個する。								
C:ソラリス	2	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果: C値-Lvする(下限値7)。								
さらなる力	1	5	Xジャー	至近	単体	20	80%	
効果: 行動済みの対象に使用できる。対象は未行動になる。1ラウンド1回まで使用できる。								
妖精の手	3	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 対象が判定のダイスを振った直後に使用する。対象の判定ダイスをひとつを10に変更する。1シナリオLv回使用できる。								
力の霊水	3	4	オート	視界	単体	自動	80%	
効果: 対象が行なうダメージロール直前に使用する。そのダメージを+(Lv)Dする。1ラウンド1回まで使用できる。								
拡散する世界	1	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 対象が「自身」ではないメジャーアクションを宣言した際に使用する。そのメジャーアクションの対象をシーン(選択)に、射程を視界に変更する。1シナリオ1回まで使用できる。								
奇跡の雫	1	6	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 対象が戦闘不能となった時に使用する。対象は戦闘不能を回復し、HPを[Lv×5]まで回復する。1シナリオ1回まで使用できる。								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

PC名: つきまわり まつりか

私は多分、数百年前?もっと前かな?数えてないから覚えてないけど、遠く昔のある国に生まれました。その国では、庶民は貧困や何かしらで苦しかったけど毎日笑って過ごせた。そして、ある日に戦争の火によって滅んでしまった…それによって両親は私を守るために犠牲になり私も死んだはずだった。目覚めると、そこは焼け野原と動かなくなったはずの両親が私を守るように亡くなっていた。

そして、私は色々な場所へ旅をする事にした。そこで沢山の人に出会い、沢山の事を学び、大切な家族も出来た。ただ、ずっと変わらないのは私の見た目が18歳くらいで止まったことくらいだろうか…私は異形の力によって、老いず死なない体になってしまったくらいだろう。それによって、魔女として異端審問を受けそうになった時や不老不死を得ようとする権力者に狙われた時も私の能力で昏倒させるなどによって被害なく済んだことが数回あったかもしれない。そんな日々を過ごして、今に至り神輿島に定住したのも多分300年くらい?前だったはずだ。私は、その度に生き死にを繰り返したように偽る事によって何代もわかって神宮を管理する家系としていた。身寄りのない子どもや島に流された人物は私の元で世話をするようになって、沢山の家族が出来たりした。ある日、PC①という身寄りのない子どもやPC④に出会った。その時には、UGN支部長という役職もUGNとかいう組織に押し付けられた。協力するから下手な干渉はしないようにするなどを約束させたが、大体の面倒事やチルドレンやエージェントのメンタルケアする存在にもなっている。本来なら、島民の憩いの場であるはずの場所がこうなるとは思わなかった。だがしかし、PC①は家族だからずっとゆくりしても良いんだぞ?私はお前が幼い頃から面倒を見ていて…いつも無理をしたりして、心配ばかりをかけるけど誰かのために行動するお前が大好きだから強くは怒れない。でも、長生きをしてお嫁さんが出来たら、子どもの顔が見たいなどたまに横道に反れる事を考えてい